

会 報

時代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会

＜第357号＞



発行日：平成27年7月1日

目次	◎ 第439回月例会の報告 『兵庫県の住宅・建築関係主要施策』	
	講演 兵庫県住宅建築局長 小南 正雄氏	・・・ 1～3頁
◎ 健康づくり・講演レポート 『100歳人生を考える』		
	講演 滋賀県健康いきがづくり協議会理事長 國松 善次氏	・・・ 3～4頁
◎ お知らせ		・・・ 5頁
◎ 広報コーナー	ひょうごふるさと館（公益社団法人兵庫県物産協会）	・・・ 6頁

第439回月例会 （講演要旨）

『兵庫県の住宅・建築関係主要施策』

開催日 平成27年6月18日（木）
会場 西村屋 和味旬彩
講師 兵庫県住宅建築局長 小南 正雄氏

（はじめに）

人口減少・少子高齢化、災害意識の高まり等、近年のまちづくりを取り巻く社会状況は変化しており、「まちづくり基本方針」や「兵庫県住生活基本計画」に定める施策に取り組むことにより、地域がつくり、未来へつなぐまちづくりを推進する主要施策について、説明をいただきました。以下はその概要です。



月例会講演風景

＜安全・安心＞

1 安全に暮らせるまちづくり

耐震改修促進計画（18年度～27年度）が本年度末終了のため、これまでの耐震化施策の総点検と新たな目標や施策の設定し計画改定を行う。

① 住宅耐震化の推進

住宅の耐震化率は、平成27年目標の97%（国は90%）に対し、25年度調査推計で85.4%（18年スタート時79%）にとどまる見込み。

このため、従来の耐震改修を支援する「わ

が家の耐震改修促進事業」から、耐震化を総合的に支援する「ひょうご住まいの耐震化促進事業」を27年度から創設し、部分的な改修工事や耐震性のない住宅の建替えへの助成、防災ベッド設置への支援等により、耐震化率を向上させることとした。

補助制度見直しによる県民負担のさらなる低減

- ・戸建改修工事の補助限度額 100万円に増額
- ・補助対象となる工事の範囲を「補強工事を行う室の内装工事費」に拡大し工事費積算の簡素化

② 多数利用建築物の耐震化の推進

大規模多数利用建築物等への耐震化助成を継続実施するとともに、県又は市と協定し防災拠点に対する補助率の引上げ等を行った。

2 安心して暮らせるまちづくり

「福祉のまちづくり基本方針」の改定を行い、高齢者等がいきいき生活できる福祉のまちづくりの一層の推進を行う。

公共交通バリアフリー化の推進では、乗降客数3千人以上の駅舎にエレベーター等設置補助を順次取り組む。また、住宅におけるバリアフリー化の推進では、「人生80年いきいき住宅助成事業」により、段差解消、手すり設置等既存住宅の改造を支援する。

3 適切な県営住宅整備・管理の推進

県営住宅の適切な整備・管理を推進する「ひょうご21世紀県営住宅整備・管理計画」の10か年計画を策定する。また、住宅に係る時代の要請に応える入居者の毎月募集や、指定管理業務の円滑な実施によるサービス向上、新婚・子育て優先枠を確保し、若い世代の入居促進を図る。

＜環境との共生＞

1 自然環境と調和するまちづくり

県民緑税を活用し、校園庭の芝生化、住民団体等が実施する植樹や芝生化等の緑化活動に対する支援等県民まちなみ緑化事業を推進する。



西宮浜中学校
生徒による芝張作業

2 省エネ・省CO₂のまちづくり
長期優良住宅や都市における低炭素建築物の普及促進を図る。

《魅力と活力》

- 1 地域の活力を生み出すまちづくり
 - 長期未着手の都市計画道路や区画整理事業等の見直しを進めるとともに、都市計画区域マスタープランの改定に取り組む。

『都市計画区域マスタープランの見直しに向けて』
(26年11月第349号会報に都市計画課レポート) ↓
http://www.kenchikukai.or.jp/infomation.php?date=2014110101_2

- 市街化調整区域における計画的なまちづくりの推進

猪名川町、稲美町でのモデル検討を通じ、地区計画制度や特別指定区域制度等の柔軟かつ効果的より市街化調整区域における集落の活力維持、活性化を積極的に支援する。

- 市街地再開発事業等の推進
既成市街地における土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、明石駅前南地区等で市街地再開発事業を推進し、防災性の向上等を図るため英賀保駅周辺地区などの区画整理事業を推進する。

また、三宮駅周辺を兵庫の玄関口にふさわしい街として再生するため、交通結節点機能の充実等により中枢性を高め、国際的ブランド力を生かしたまちづくりを推進する。県の関与、役割については、今後調整されて行くことになる。

- 2 地域の魅力を活用したまちづくり
 - 兵庫県住生活基本計画等の改定
県民の住生活の安定の確保及び向上を促進する基本計画である「兵庫県住生活基本計画」「兵庫県高齢者居住安定確保計画」について社会情勢の変化に対応し改定を行う。
 - 古民家の再生
伝統的木造建築技術の維持・継承、地域景観と調和したまちづくりを促進するため、交流施設等に再生する「古民家再生促進支援事業」を実施する。

- 空き家対策等の推進
空き家の増加抑制のため、中古住宅の流通促進策として建築士等による建物検査（インスペクション）について、民間団体を支援して普及・啓発を図ることにより、安全・安心で良質な中古住宅の流通を促進する。

また、農山村部等の空き家の利活用推進のため、「さとの空き家活用支援事業」を実施する。

さらに、安全上や景観上の問題が生じつつある長期間放置された空き家について、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の運用により、市町の空き家の適正管理に関する取組を支援する。

《自立と連携》

- 1 交流と連携によるまちづくり
公共施設等の充足された理想的なまちとして整備された郊外型住宅団地も、今後、急激な人口減少・高齢化の進展により、地域コミュニティ活力の低が懸念されることから、団地再生に向けた取組方策を検討する。

また、明舞団地がオールドニュータウンの再生モデルとなるよう、明舞センター地区再生事業などの取組を推進する。

『明舞団地まちびらき50周年』（26年7月第345号～10月第348号会報に元住宅供給公社川端氏レポート） ↓

http://www.kenchikukai.or.jp/infomation.php?date=2014070101_2

- 2 地域の自立に向けたまちづくりへの支援
あわじ環境未来島構想の取組等のため開催した「淡路花博2015花みどりフェア」には目標を大幅に上回る359万人の来場があり、公園の年度入場目標も既に達成した。

《営繕工事》

土木・建築の公共事業費（国庫補助事業分）1,000億円中、住宅・営繕で465億円規模となっている。耐震補強工事の影響であと2年はこの状況が続くと考える。予算措置との関係もあるが、発注時期の平準化に留意したい。

平成27年度建設工事発注見通し (営繕・設備工事)

下記から「入札情報サービス」→「発注見通し」→検索
<https://www2.ppi.pref.hyogo.jp/ebidPPIPublish/EjPPIj>

次頁のパースは『姫路工学キャンパス』（第2四半期）

整備期間平成26年度～35年度（115億円）



(講演関連写真)

《魅力と活力》 古民家再生例

所在地：養父市八鹿町

活用：私塾としても利用された伝統ある古民家を、地域の交流・学習拠点として再生



改修前



改修後



《自立と連携》

明舞団地：明舞センター地区再生事業等取組

建替施工前



建替施工後

健康づくり・講演レポート

テーマ：『100歳人生を考える』

開催日：平成27年5月9日（土）

会場：たちばな職員研修センター（神戸市）

講師：滋賀県健康生きがいつくり協議会理事長
(元滋賀県知事) 國松 善次氏

(はじめに)

兵庫県健康生きがいつくり協議会（7月月例会講師招聘）からの案内で、元滋賀県知事の国松善次氏の講演を聴いてまいりました。そのレポートです。

日本は、世界の長寿国となり、現役年齢も高まり「人生100歳時代」に入りつつありますが、その一方では、少子高齢化の進行、平均寿命と健康寿命の差、認知症の増加等様々な

課題を抱え、新しい発想や取組みが求められています。

国松氏は「人生100年時代をいかに生きるか」をテーマとした「100歳大学」を提唱し、滋賀県栗東市を中心に既に開設されました。この度は、その生い立ち、ビジョン等の講演で、参加者それぞれが如何に課題に取り組むかを考える機会となりました。



講演会風景：國松氏

1 厚生から健康福祉へ

滋賀県職員時代に福祉を担当し、高齢化の進展は大変な時代が来ると感じた。

兵庫県で第1回の高齢者のスポーツ大会“ネンリンピック”があり、高齢者がイキイキ活動している姿に感動した。そして、将来の必要性を感じ、老後をいかに健康で生きがいを持って暮らしていくかのスペシャリスト“健康生きがいつくりアドバイザー”の制度ができ、その1期生の研修を受け資格を得た。

部長となり、高齢者の増加問題は、一層、行政では手におえない問題と確信し、一人一人が健康を考え努力することが重要であることから、国とは軋轢が生じたが「厚生部」から「健康福祉部」へ名称を変えた。全国に先駆けた名称でその後全国に広まっていった。

2 高齢者とスポーツ

元聖路加病院院長の日野原重明氏は93歳から陸上を始めた。百歳を超えた今でも100mを走り、一緒に出たマスター陸上アジア大会で世界記録を出した(他に例がないから)。私は5000mで8位になった。元気で長生きの秘訣は「何歳になっても新しいことを始めること」そして「104年の人生で今が一番幸せ」と言っておられる。次は砲丸投げで二冠目を狙っている。

私は、70歳で始めて3kmを走り、7km、10kmと伸ばし、2年目には長良川マラソンで21km、福井県で同じく21kmを2時間24分で走れた。要するに休まないことと悟り、走るほどに爽快感を覚え、その後東京、ホノルル、大阪のフルマラソンに挑戦し完走してきた。

マラソンを継続するかは分からないが、目標を持つことの重要性を知った。

3 人生100歳時代の到来

100歳人口は1963年の153人から2000年頃から急カーブで上昇し、2014年には58,820人となった。しかし、8割が認知症というデータがある。

2055年には高齢化率40%と言われており、健康な老人づくりを心掛ける必要がある。そのための健康づくりのカギは次のとおり。

(1) 「3つのK」を若くする生活習慣づくりをすることである。

- ① 筋肉を若く…筋肉を鍛えて汗をかく(筋肉年齢)
- ② 血管を若く…食事と呼吸と汗でサラサラ血液(血管年齢)
- ③ 気持ちを若く…気持ちを明るく、目標を持ち、挑戦と悟りで人生を楽しく(気力年齢)

(2) 「心のスパイス3つ」

- ① 好奇心 ② 遊び心 ③ 感動と感謝

4 人生100歳時代のライフプラン

70歳からを人生の本番と捉え、「30年の老い」をもう一つの青春に転化していく。

そして、「30年の老い」には「老いの義務教育」が必要で、その狙いは、長い老いを生きる「覚悟とノウハウの体得」である。

現在の義務教育は、大人になるための教育、即ち「登山の教育」であるが、第2の義務教育は、老いを生き切るための教育で、「下山の教育」である。

5 100歳大学の開設

長寿の世界最高峰から安全な下山をするため、「100歳大学」を提唱し、まずは滋賀県栗東市で開設した。65歳以上の新規高齢者が対象で、期間は週1回程度で最低3年間とする。設置は市町村であるが運営は民間委託とし、中学校区のコミュニティ単位で、地域の公民館や空き店舗を活用すれば足りる。カリキュラムは、基礎科目に「健康づくり」「生きがいづくり」「福祉の現状」「地域の課題」「幸せづくり(宗教)」等々を置く。そして、男女別科目を設定し、男性には「料理教室」を設け、男性・女性それぞれに「認知症と介護」を入れる。この、認知症は生活習慣病の一種と言われ、筋肉を使いすぎるとなりやすいと言われる。3Kの筋肉を鍛えて、目標を持つことが大事である。

6 その他の提案

100歳大学に関連して、その他次の提案をしている。

- ① 「100歳マイレージ制度」の創設
大学の受講や、健康診断受診者や医療保険の利用度によって国民健康保険料か介護保険料等の割引制度を自治体単位で創設する。
- ② 「新高齢者式」の開設
新65歳高齢者を対象に「新高齢者式」を開催し、大学やマイレージの活用を促し、100歳人生成功を支援する。同級生の集いともなり、地域貢献などの諸活動の原動力となり、地域力アップが期待される。
- ③ 「100歳大学プレスクール」の開設
退職前のサラリーマンや定年直後の65歳前のシニアを対象に人生100歳時代の課題や老いの生き方について事前に学ぶ機会を提供する。

7 おわりに

人生、もう一幕ある時代がきた。

高齢化が爆発的な比率となってくる中、健康な老人づくりへの努力をサポートする仕組みが大事となる。それが100歳大学、マイレージ構想である。

それぞれの地域で模索をしてもらいたい。

講演会風景



お知らせ

◎ 行事ご案内

① 第440回月例会・・・参加者募集中

テーマ：健康マイプラン講座「こうして防ごう認知症～今日からできる生活改善～」

講師：福田 章氏

NPO 法人認知症予防サポートネット理事長

日時：7月16日（木）12時～14時

会場：神戸三宮東急REIホテル

今回から、講演をお聞きした後に昼食会・懇談会を行います。ごゆっくり歓談ができますと思いますのでご了承ください。

② 第441回月例会兼建築会セミナー

・・・近日ご案内

テーマ：「人余りから人不足社会への転換と人材育成の課題」

講師：開本 浩矢氏

兵庫県立大学 経営学部長

日時：9月10日（木）12時～14時

会場：神戸三宮東急REIホテル

企業における人材の育成方法について、事例を紹介しながらわかりやすく解説いただけます。

③ 第442回月例会

テーマ：須磨学「武庫離宮100年と別荘文化」

講師：小林 善彦氏

NPO法人須磨歴史倶楽部理事長

日時：10月15日（木）12時～14時

会場：西村屋和味旬彩

意外と知られていない、近代別荘文化発祥の地「須磨」の歴史が紹介されます。

◎ セミナーのご案内

テーマ：技術研修会「知らないうちに建物が縮む」～現場は宝の山 世界初の超高層ビル解体の技術開発ヒストリー～

講師：市原 英樹氏（大成建設 建築本部）

日時：7月30日（木）14時～

会場：兵庫建設会館（神戸市西区美賀多台）

主催：（一社）兵庫県建設業協会 3階ホール

旧赤坂プリンスホテル新館の「最後まで美しい」と言われた解体作業レポートです。

◎ 会員の動向（6月届け出分・敬称略）

㈱明和工務店 役員改選（6月12日付）

中島 俊一（新）取締役顧問（前）代表取締役社長

和田 好勝（新）代表取締役社長（前）常務取締役

神鋼興産建設 役員改選（6月22日）

本山 裕二（新）代表取締役社長

近藤 治（新）専務取締役（前）常務取締役

岡野 精一（新）常務取締役（前）取締役

◎ 研修交流会開催結果

第150回研修交流会（建築会ゴルフコンペ）

日時：6月25日（木）9：03～

会場：六甲国際ゴルフ倶楽部

成績：優勝：田部重雄氏（日光電気工事）

準優勝：平井保夫氏（大阪ガス）

三位：山本一夫氏（日光電気工事）



第150回の記念コンペは、4組・15名により開催しました。梅雨の最中、お天気に恵まれましたが高速グリーンに拍車がかかり、相変わらずパットに苦労しました。そんな中、このところ出れば優勝、入賞という参加者中最高齢者の優勝コメントには感心でした。人生100歳時代実践です。次回は10月22日（木）、4組予定です。ご参加よろしくお祈りします。



成績発表

←

優勝杯授与→



◎ 事務局便り

○ 会員名簿をリニューアルし、A4縦書きで全体をコンパクトに纏め、新たにメール配信をすることで事務を進めています。諸手続きのうえ配信しますので暫くお待ちください。

○ 人生100歳時代の到来とのことですが、認知症の現状から健康な老人づくりに自ら努力する必要があります。しかし、日野原さんは別格ですね。大学時代に結核で休学したとはとても思われません。その日野原さんですが、神戸所縁で、父親が神戸栄光教会の牧師として赴任され、小学校から旧制高校まで過ごされていたとのこと。お元気での活躍を祈念するとともに、マスター陸上での二つ目の世界記録を期待したいと思います。

いずれにしましても、会員皆様には7月の月例会には是非参加され、来るべき100歳時代に備えてはいかがでしょうか。

事務局：谷 純夫、石井滝実子

電話：078-996-2851

FAX：078-996-2852

Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp



いつもの旅がもっとお得に!

とく たび

ひょうご 得旅

キャンペーン!

兵庫県マスコット はばタン

第1弾

ひょうごの逸品、もう一品「特産品お買物券」プレゼント!
実施期間/平成27年7月1日(水)~8月31日(月)

第2弾

ひょうごの旅の思い出に「温泉地おみやげ購入券」プレゼント!
実施期間/平成27年9月1日(火)~9月30日(水)

詳細は、ひょうご得旅キャンペーン
特別サイトにてご確認ください。

ひょうご 得旅

検索



<http://www.hyogo-tokutabi.jp>

ひょうごふるさと館 ポイントカード会員様限定

兵庫県特産品お買物
20%ポイント還元
キャンペーン

無料でスグに入会できます!



お早めにお買い求めください!
総額350万ポイントに
達し次第終了。

7月1日~8月31日

- 当日ご入会されたお客様にもポイント還元は適用されます。
- キャンペーン期間中は、従来行っている2倍キャンペーンを実施致しません。

HYOGO
FURUSATO
BRAND

お店にずらりと! ひょうごふるさと館

多様な兵庫の特産品をご賞味ください。
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 8-1-26 (そごう神戸店 新館 5F) センター街
TEL.078-252-0686 FAX.078-252-3734
営業時間/10:00~20:00

ひょうごふるさと館 検索



(公社)兵庫県物産協会 〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1
TEL.078-361-8751 <http://www.hyogo-bussan.or.jp>

『ひょうごふるさと館』はこちらから → <http://www.hyogo-bussan.or.jp/>
『ひょうご得旅キャンペーン』はこちらから → <http://www.hyogo-bussan.or.jp/event/>